

豊松協働支援センターだより・結い

令和4年11月15日
豊松協働支援
センター発行
第62号



笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり



今年も上豊松自治振興会の「お化けかぼちゃ祭り」が開催され最重量は96kgでした。色や大きさがバラエティーに富み見学するだけでも楽しいです。(10月6日)



神石高原中学校豊松地域の生徒13人が「地域ふれあい行事」で「豊松盆唄」の継承事業についての活動を行いました。盆踊り保存会の方々と一緒に、8月に収録されたドキュメンタリーのDVDをみて録音された唄で盆踊りを踊りました。小学校6年間踊り続けた盆踊り、唄が流れると自然と体が動き始めました。未来へつなぐ頼もしい「豊松っ子」の盆踊りでした。(11月2日)



豊松小学校児童は上豊松自治振興会の畑で芋ほりをしました。子ども達は泥だらけで、大小様々さつま芋をたくさん掘りました。(10月31日)



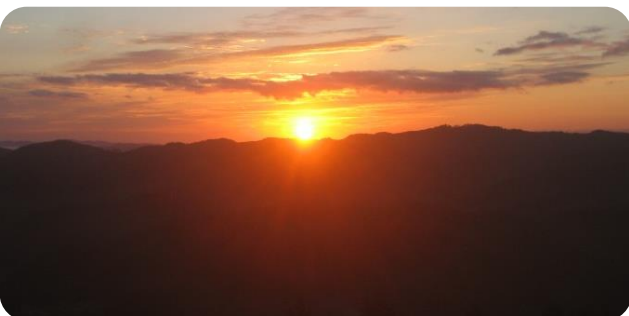
チョークアートにチャレンジ

講師：なないろパズル 金谷 めぐみ先生

秋の豊松



チョークアートは面白いね〜
楽し下給な
のこ〜



(左上) 米見山から望む日の出・右上) 米見山からの雲海と日の出・左下) 豊松小学校グラウンドの紅葉・右下) 豊松小学校東門付近)



有木レディースのメンバーがチョークアートに挑戦しました。金谷先生の指導の基「ワクワクドキドキ」可愛いフクロウの作品が完成しました。(9月28日)





パン教室があり10月4日(火)は「コーヒーチぎりパン」
10月25日(火)は「四つ葉パン」
を作りました。今年のパン教室はこれで終わりです。来年もよろしく♪



備前焼き陶芸教室を行いました。今回は来年の干支の「うさぎ」の制作に汗を流しました。(10月29日)



キッズわくわく広場では「インディアンハウス型ランプ」を作りました。個々のアイデアや色の使い方により個性あふれた作品が出来ました。(10月13日)



つまみ絵教室作品は「ふくらう」「寛とめじろ」です。



豊松協働支援センター
カウンター
作品はセンター職員や住民の方です。



大根引き
大根で道を
教えけり
小林一茶

7月23日陶芸教室の完成作品



12月17日(土)に予定していましたが「そば打ち教室」は講師の都合により中止いたします。誠に申し訳ございませんがご了承下さい。

ハンドメイドフラワー教室

～おしゃれな「クリスマスリース飾り」を手作りで！～

- 日時 12月3日(土)13:30～15:30
- 場所 とよまつ総合センター
- 講師 豊田 麻希さん
- 材料費 2,000円(軍手(必要な方持参))
- 申込み 11月29日までに豊松協働支援センターへ 電話 84-2226

～参加者募集中！～

花アレンジメント教室

～お正月用のアレンジメント～

★日 時: 12月26日(月曜日) 13時30分～

★場 所: とよまつ総合センター

★参加費: 3,000円

★講 師: 福岡 佑映 先生

※ 花ばさみをご持参ください。(昨年作品です)

参加申込み 豊松協働支援センター 電話: 84-2226
申込み締切! 12月21日(火曜日)までにお願いします。

参加者募集中 男料理教室

メニュー: いも煮, 大根ビール煮, サバ寿司

- ★ 日時 12月13日(火) 9時30分～12時30分
- ★ 場所 とよまつ総合センター(2階調理室)
- ★ 講師 赤木 正秀さん
- ★ 材料費 1,000円
- ★ 持参物 エプロン, 三角巾, マスク
- ★ 申込み 12月6日まで豊松協働支援センターへ 電話 84-2226

一緒に作ってみませんか?

12月と言えば「師走(しわす)」と思い浮かべる方も多いかもしれませんが。ではなぜ「師走」なのでしょう。「師走」の由来は僧侶のような普段落ちついていない人でも、この月は多忙で走り回るようになるという意味から名付けられたという説があります。なぜ僧侶は歳末に忙しくなるかというと歳末に仏様や菩薩の名を唱えその年にしてしまった様々な罪に懺悔し、身も心もきれいになるように記念する法要「仏名会(ぶつみょうえ)」があるからです。一般の方も参加できますが参加できない人にかわって僧侶があちこちの寺院にいて法要を行うから忙しいのです。他にも「梅初月(うめはつづき)」や「春待月(はるまちづき)」といわれ春への期待が込められた意味でも呼ばれることもあります。1年の終わりでであると共に新しい1年に思いを馳せる月でもあることがわかりますね。

●申込み・問い合わせは● 720-1704 広島県神石郡神石高原町741番地
豊松協働支援センター【電話 0847(84)2226】

フェイスブック ホームページ 見てね♥